

肥効調節型肥料による小麦品種「ゆきちから」の 高品質・省力施肥法

福島県農業試験場 種芸部・会津地域研究支場
平成13年～15年度福島県農業試験場試験成績概要
分類コード 02-02-13000000

部門名 普通畑作物－小麦－施肥法
担当者 丹治克男・二瓶直登・渡部 隆・斎藤正明

I 新技術の解説

1 要旨

コーティング尿素(LP肥料)を全量基肥施肥する場合には、40日タイプを使用し、窒素施肥量は、基肥と追肥2回分の計16kg/10aを全層施肥する。

- (1) 肥効調節型肥料を基肥に施用することにより、冬期間から越冬後の生育量は対照区より少なく経過する。
- (2) 肥効は出穂期以降まで持続され、無追肥でも対照区並の生育量及び収量が確保される。
- (3) 溶出日数の違いでは、30日タイプで生育がやや劣るが、40日タイプと70日タイプおよびLP苦土安では差が見られず、収量・千粒重・子実蛋白含量とも対照区との差はない。
- (4) 施肥位置の違いでは全層施肥の生育が優り、接触施肥による施肥効率向上効果は見られない。

2 期待される効果

「ゆきちから」栽培の省力化が図られ、品質・収量の安定した栽培が可能となる。

3 適用範囲

対象地域は、福島県の会津平坦部および中通り・浜通り地方とする。

4 普及上の留意点

播種法はドリル播きとする。

II 具体的データ等

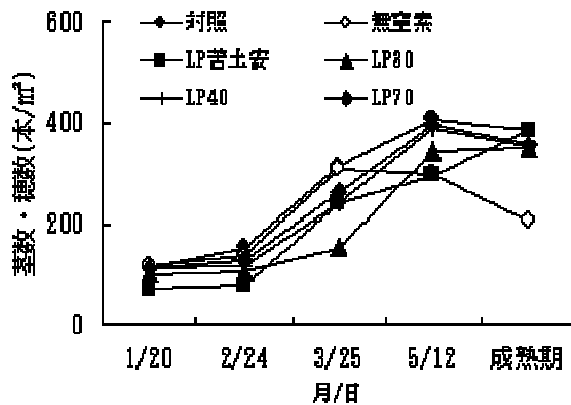


図1 接触施肥での肥料の種類と茎数の推移
(福島農試、2003年度)

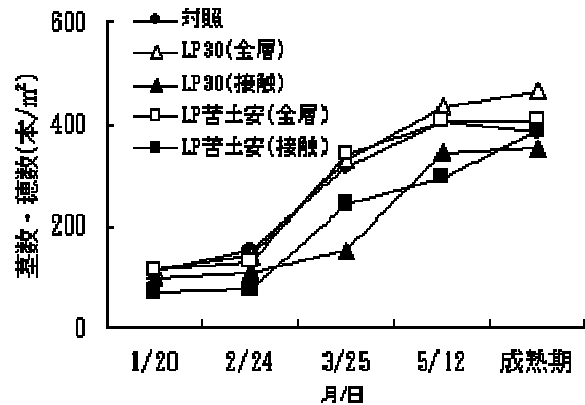


図2 施肥位置と茎数の推移
(福島農試、2003年度)

表1 収量と品質(福島農試、2003年産)

区 名	成熟期 (月日)	倒伏 程度	全重 (kg/a)	わら重 (kg/a)	粗子実重 (kg/a)	精子実重 (kg/ε)	千粒重 (g)	硝子率 (%)	子実蛋白 (%)
対照	3/21	13	103.8	43.2	45.0	43.8	41.2	81	12.5
無窒素	3/18	0	55.7	28.0	20.3	20.2	42.0	84	11.6
LPS40全層	3/22	0	97.3	40.8	42.0	40.7	42.4	87	12.1
LPS40接触	3/21	0	91.3	38.1	40.2	39.6	42.8	83	13.4
LP30接触	3/22	75	104.9	43.2	46.7	44.3	41.5	88	13.0
LP30+追肥	3/22	50	111.2	47.5	48.3	45.7	40.8	89	12.7
LP30+LPS40全層	3/23	125	115.8	47.4	50.9	49.9	42.6	88	14.0
LP30+LPS40接触	3/23	50	111.2	45.8	50.0	47.8	41.5	89	13.3
LP30半量+LPS40	3/21	13	100.7	41.1	44.9	43.9	41.6	85	13.1
LP30半量+LPS40半量	3/21	0	96.5	42.8	42.1	41.2	40.9	87	12.1

対照：基肥(窒素1kg/a)+9月上旬追肥(窒素0.3kg/a)+出穂期追肥(窒素0.3kg/a)

Ⅲ その他

1 執筆者

丹治克男、佐藤 誠

2 主な参考文献・資料

なし